

令和6年度 学校教育アンケート（保護者用）

【 あてはまる・どちらかといえばあてはまる の割合（％） 】

		肯定的	否定的	わからない
1	子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。	91.8	6.8	1.4
2	子どもは授業が楽しく分かりやすいと言っている。	83.1	11.1	5.8
3	子どもはあいさつ・礼儀・言葉づかいなどが正しくできるようになってきている。	84.1	13.5	2.4
4	学校は子どもに基礎基本の学力が身につくようしっかり指導している。	87.0	8.7	4.3
5	子どもに人とのかかわり話し合ったりする力が身についてきている。	89.4	7.2	3.4
6	子どもに「自分にはいいところがある」「自分は大切にされている」という自尊感情が育ってきている。	88.4	4.4	7.2
7	子どもに望ましい読書習慣が身についてきている。	47.8	46.4	5.8
8	学校の宿題は質・量とも適切である。	79.7	14.0	6.3
9	子どもは友だちと仲良く過ごすことができている。	93.3	1.9	4.8
10	学校はいじめのない学級づくりに取り組んでいる。	70.1	4.8	25.1
11	子どもは生命の大切さを理解し人権を尊重する態度や社会ルールを守ろうとする態度を育んでいる。	85.5	1.4	13.0
12	学校は健康な体力づくりに向けた教育活動によく取り組んでいる。	93.2	2.4	4.3
13	学校はＩＣＴ（タブレット端末など）を活用した学習について適切に取り組んでいる。	78.3	9.1	12.6
14	学校は安全安心な学習環境の整備に向けた取組みを適切に行なっている。	80.2	2.8	16.9
15	学校が保護者に配布する文書・事務連絡・通信等の内容は適切である。	97.6	1.4	1.0
16	学校は保護者が子どもの様子について連絡したことに適切に対応している。	91.4	3.3	5.3
17	学校は地域と連携を図り不審者対策など児童の安全確保に向け適切に対応している。	80.6	5.3	14.0
18	先生は子どものよさや努力をきちんと認めてくれる。	91.3	5.3	3.4
19	先生は子どもに間違った行動があればそれを正し、子どもの成長につながる指導をしている。	88.0	3.3	8.7
20	通知票は子どもの学力や努力を適切に評価できるよう工夫されている。	85.0	8.2	6.8
21	授業参観など保護者が来校する機会や回数は適切である。	93.8	4.4	1.9

【令和6年度 学校教育アンケート集計結果からの考察】

保護者の皆さまにおかれましては学校教育アンケート回答にご協力いただき、誠にありがとうございます。学校教育アンケートは、本校の学校教育目標『笑顔で「明るく 楽しく 元気よく」』の達成にどれだけ近づけているかを根拠を持って知り、本校教育の改善に役立てるためのものです。

令和3年度よりスマートスクールの方針に則り、スマホやタブレットでQRコードを読み取り回答できるようになりました。これにより、回答や集計にかかる時間を短縮し、保護者も教員も子どもとまっすぐに向き合う時間を確保することがねらいとしています。

結果より（令和7年度に向けて）

- 1…「学校へ行くのが楽しい」の項目では90%以上で肯定的な回答が見られました。その一方で、7%ほどの子どもが学校へ行くことについて不安感や心配な思いを持っているようです。川西小学校の子どもたちみんなが前向きに登校できるようになることを目標に、安全・安心な学校づくり、クラスづくりを推進していきます。
- 2…「子どもは授業が楽しく分かりやすいと言っている」の項目では8割以上が肯定的回答でした。基礎学力の定着を図りつつ、それを基に自ら考えたり、表現したりする授業を展開していきます。ただし、1割ほどの子どもたちが授業についての分かりにくさを抱えているようなので、個別での指導や授業の進め方の工夫などを考え、理解力のさらなる向上をめざします。
- 3…「あいさつ・礼儀・言葉づかいなどが正しくできるようになってきている」の項目では、85%以上が肯定的な回答でしたが、およそ13%ほどの保護者の方で、あいさつや言葉づかいを気にしていることも分かりました。学校生活のみならず、学校外でも正しいことができるように話をしていくとともに、各ご家庭でも礼儀などについてのお話をしてもらえるとありがたいです。
- 7…「望ましい読書習慣が身についてきている」の項目は肯定的な回答と否定的な回答がほぼ半々の結果となりました。読書は集中力や思考力、読解力の向上や語彙力や想像力を豊かにするなど、多くの効果が認められています。今年度に引き続き、朝の学習時間での「読書タイム」、図書の授業での読書集中時間の設定を継続していき、次年度以降のアンケート結果の推移を見ていきます。
- 16…「保護者が子どもの様子について連絡したことに適切に対応している」では、例年、肯定的な回答が高水準域を保っています。ご家庭と学校とが連携体制を取れている成果だと考えられます。「教育の主役は子どもたち」ということを念頭に置き、来年度もご家庭とのチームワークを深めていきます。
- 10、11、13、14、17…「学校はいじめのない」「子どもは生命の大切さを」「学校はICTを活用した」「学校は安全安心な」「学校は地域と連携を図り」それぞれの項目は、「判断できない」と感じておられる方が他の項目と比べて多く見られました。特に「学校はいじめのない学級づくりに取り組んでいる」の項目については1/4の保護者の方から「判断できない」という回答をいただきました。学校としてどのような取り組みを行い、どのような成果が出ているのか、学校だよりやホームページ、配信メールなどを活用して発信し、周知していきます。

※今回のアンケート結果に基づいて、学校教育のさらなる充実を推進していきます。

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。